

「ファーストステップ研修」修了者追跡調査による研修効果及び 介護職チームのリーダー・中堅介護福祉士の役割

野田由佳里*¹⁾ 太田貞司²⁾ 及川ゆり子³⁾ 鈴木俊文⁴⁾ 山畑晋也³⁾ 水野公智³⁾ 中邑 愛³⁾

¹⁾ 聖隷クリストファー大学 ²⁾ 京都文教大学 ³⁾ 静岡県介護福祉士会 ⁴⁾ 静岡県立短期大学

1. 目的

静岡県介護福祉士会主催のファーストステップ研修(10年間)の修了生とその後の業務経験、また事業所等での役割や実践内容についてアンケート調査を実施し、研修効果や、介護職チームのリーダー及び中堅の介護福祉士の役割と機能を明確にし、その育成に資することを目的とした。

2. 研究方法

(1)質問紙調査 郵送法(研究倫理承認番号 15118) (2)研究対象:研修修了生 208名

3. 結果

(1)返信 75通、そのうち有効回答 74通(有効回収率 35.5%)。

(2)単純集計及び分析:【回答者】回答者は女性 82.4%。介護福祉士資格取得年齢は 40代が最も多く 40.5%。【研修後】受講開始時「介護職員」77.0%だったが、現在は 54.1%に減少した。一方、「介護支援専門員または生活相談員」は 14.9%→27.0%と増加し、部署は介護職を離れたと推測される。なお「スタッフ」は 31.6%→25.0%と減少したが、「主任・介護長」は 21.1%→25.0%と増加し、研修がキャリアアップに影響を与えている可能性がある。【受講理由】「スキルアップのため積極的に研修に参加した」が最も高く 81.1%。参加者の多くは本研修に積極的かつ自主的に参加していたと考えられる。【研究効果】研修は「有効であった」が 64.9%。【同僚への参加推奨】「是非とも参加するよう強く進める」「参加したほうがよいと勧める」が計 75.6%。【印象に残っている、今の仕事に役立っている科目】「ケア場面での気づきと助言」が最も割合が高かった。「ケア場面での気づきと助言」のスキル習得に関する有効性があることが示唆された。

4. 考察

①【研修受講後の職場の変化】自己認識として「チーム全体で利用者の尊厳を損なわないことについての意識が高まった」が最も割合が高かった。職場への影響として利用者に対する尊厳の理解やチームメンバーのやる気を向上させたことなど、波及効果が推察される。②研修受講を開始した時の気持ちについて【前向きに参加】した受講生は【今の仕事に役立っている】と回答した者が48%に対し、【後ろ向きに参加】した者は11%と低い。又、【前向きに参加】した受講生は【視点が広がった】と回答した者が63%に対し、【後ろ向きに参加】した者は13%と低い。研修効果を上げる為には参加時のモチベーションも非常に重要なファクターとなっていることが明らかになった。③【研修受講後の自身の変化(自分で感じること)】で最も割合が高かったのは「違う視点からも問題を見ることが出来るようになった」【研修受講後の自身の変化(他人から言われること)】で最も割合が高かったのは「チームメンバーの働きやすさに目配りするようになった」であった。研修の成果として参加者自身の視点の多角化とチームメンバーへの配慮向上に関する周囲からの評価が確認された。研修の職場に対する効果として利用者に対する尊厳やチームメンバーのやる気の向上といった波及効果が確認できた。

5. 今後の課題・謝辞

研修効果が推察されるが、部署の移動の要因など受講後の分析などが今後の課題である。また、ご協力頂いた「会」及び事業者・介護福祉士に感謝申し上げます。

*学会発表 第28回日本介護福祉学会ポスター発表

*論文発表 聖隷クリストファー社会福祉学部紀要論文, 2017年3月発行. pp81-96